



海禅寺新聞『第28号』

今年もあとわずかとなりました。皆さまにとつて本年はどのような一年だったでしょうか。感染症の不安と向き合いながらも、きつと普段とは違う時間の過ごし方をされた方が多かったのではないかと拝察いたします。

海禅寺では毎年11月23日（勤労感謝の日）に人形供養会を勤修しています。回を重ねて36年目、今年もたくさんのお人形さんたちが集まりました。年間を通じて、供養日以前に人形の受け入れをする事前受付の際は、できるだけお持ちになった方と対話をするように心がけています。本年は人形を供養する動機として、感染症に配慮して外出を控えたぶん、自宅の掃除や身辺整理をし、結果としてお人形を供養することを決めたという方々がとても多くおられました。そうしたことから、これまででは高齢の方が多い傾向にありましたが、今年はその割合として年齢の若い方も少なくなかった印象があります。いずれにしても皆さんの言葉の端々からは、思いを寄せてきた人形は単なるモノではなく、魂の宿るかけがえのない存在であり、それゆえゴミに捨てることはできず、供養という一事を介してお別れの区切りをつけたいという切なる思い



がひしひしと伝わってきました。こうした思いやりの心が私たちの中にある限り、少々世間が荒れていても「世の中何とかなる」「大丈夫だ」という気持ちになります。自分を支えてきたお人形との物語、その最終幕を丁寧に閉じようという思いにこれからも寄り添って参ります。

生きる力 Vol.103 送付

今回の特集は『仏さまとつながる祈り—祈りで始まる安らかな一年—』です。目に見えない感染症と日本に限らず世界中が対峙した一年、「新しい年が私のみならず社会にとつてよりよい年になりますように」と大きな願いを抱くのは皆さんに共通していることと思います。そうした祈りの気持ちをおこし一心に手を合わせるとき、真言宗では『三力偈』というお経（偈文）を大切にしています。

三力偈
以我功德力（いがくどくりき）
如来加持力（にょらいかじりき）
及以法界力（ぎゅういほうかいりき）
普供養而住（ふくようにじゅう）

私が仏さまを深く信じて善い行いを積むことで得られる力（我功德力）と、仏さまから降り注ぐ慈悲の力（如来加持力）と、私たちが支える大いなる自然からの恵み、そしておかげさまの力（法界力）、この三つが相まって成就する大きな功德のことです。三力を思いながら



祈ることで大きな広がりを感じられることでしょう。詳しくはぜひ本紙をご一読ください。

初祈願お申込みを送付

新年恒例となつております『初祈願大護摩祈禱札のお申込み』を同封いたしました。海禅寺の不動堂にて、ご本尊不動明王の御前で勤める護摩祈禱にてお加持をした護摩札をお授けいたします。例年通り新年の2日に行いますが、感染症に配慮して左記のように執り行います。

- ・マスク着用等、感染予防にご配慮いただき、体調にご留意の上お参りください
- ※入り口にアルコール消毒剤を用意します
- ・お参りの方はなるべく人数を絞ってお越しください
- ・不動堂の換気をしながら、例年通り護摩祈禱をお勤めします。参列希望の方はあたたかい服装でおいでください
- ・ご祈禱後、11時よりご祈禱札をお渡しいたします（夕刻5時まで）。お申込みの方はその時間に合わせてお寺にご参拝いただいても結構です
- ・ご祈禱札の郵送もいたします。（送料500円）
- ・ご希望の方は申込書に明記ください
- ・終了後に開催していた新年を祝う小酒宴ですが、今回はお休みいたします
- ・次年をお楽しみにお待ちください

こうした世相の時だからこそ、伝統に則つてより至心にご祈願申し上げます。どうぞ参拝ください。令和三年 丑（うし）



日程 新年1月2日（土）

時間・ご祈禱 午前10時～

※お堂にお入りの方は10時40分頃、御札をお渡しできます

- ・御札渡し 午前11時～午後5時
- ・御札郵送 3日発送

※初祈願ご祈禱札をご希望の方は、12月29日（火）までに、同封の『初祈願御申込御芳名帳』にてお申込みください。ファックスでも可 Fax：0268-26-1147

修正会

新年最初の法要を、修正会と言います。過ぎ去った旧年の罪障や穢れを懺悔し、新しい年がよりよくあるように祈念いたします。海禅寺でも年が明けた0時より、本堂・不動堂・聖天堂でお勤めいたします。菩提寺として、各家のご先祖供養と合わせて、皆さまの心願成就、家内安全、身体健全をご祈願申し上げます。

ご参拝希望の方はお堂の外からですが、どうぞご自由にお参りください。（申込不要）
日時：新年1月1日 午前0時～

※本堂で任職が各家ご先祖の回向法要を、不動堂と聖天堂では副任職が祈願法要をお勤めします。

総本山より疫病退散御守り下付

この度、総本山智積院が、檀信徒の皆さまの心の拠り所になればという切なる思いから、『疫病退散の御守り』を謹製しました。各家一つずつ同封しています。お財布等に入れてご携帯ください。

総本山 冬報恩講に出仕

ふゆほうおんこう

去る十二月十日より十二日までの三日間、総本山智積院に於いて興教大師覺鑿（カクバン）上人への報恩謝徳の誠を捧げる、恒例の冬報恩講が勤修されました。興教大師は「中興の祖」とも呼ばれ、弘法大師空海が入定されてから約300年の後、活力を失いつつあつた高野山の状況を憂い、弘法大師の教えを再興するために様々な改革をされました。私たち真言宗智山派は、その流れを汲む宗派です。それ故、興教大師の功績に感謝し、その教えの内容を確認する法要を執り行い、その恩に報いることを目的に毎年総本山にて執行されています。

冬報恩講は興教大師が入滅された十二月十二日を期して行われます。その内容は次の三つの法要から構成されています。

・「出仕論義」（十二月十一日）

↓真言宗の教義について教典『大日経疏』をもとに毎年、化主猊下より論題が出題され、問答によって論議する法要です。

・「陀羅尼会」

（十二月十一日夕方から十二日明朝にかけて）
↓罪障消滅などで唱えられる尊勝陀羅尼を興教大師覺鑿上人が祀られている密厳堂で、一晚中誦する法要です。ただし本年は感染症に配慮して極限られた僧侶のみで執行されました。

・「御法事」（十二月十二日）

↓報恩講を締めくくる法要です。
これらの法要は布施浄慧化主猊下ご出仕のもと「集議 菩提院結衆」と呼ばれる総本山智山院における上座の僧侶方が中心になり行われます。

海禅寺住職も平成二十七年よりこのお役を拝命しているため、感染症対策を万全に整えた上で出仕して参りました。御法事では法要内での主要な役割の一つをいただき、無事勤めることができました。

感染症の不安が世間に満ちているこのような社会状況であるからこそ、古より脈々と勤修されてきた祈りの伝統に則り、肅々と法要を勤めることは大切であると深く感じ入りました。



→法要に向かう僧侶たち。冬報恩講の際は、総本山境内に、桔梗紋をあしらった「集議 菩提院結衆」一人一人の名前が書かれた提灯が上がり、夜は明かりが灯ります。

大本山 高尾山 薬王院 新貫首

皆さんは平成二十七年の夏、海禅寺施餓鬼会に於いてご法話くださった佐藤秀仁僧正を覚えておいででしょうか。修験道装束を身に纏い、「大自然の祈りの心」というテーマでお話をいただき、最後には力強い法螺を吹奏されました。

その佐藤秀仁僧正がこの度、真言宗智山派 大本山高尾山薬王院の第三十三世貫首（かんす ※いわゆる住職）に就任されました。

私たち真言宗智山派は、総本山智積院を筆頭に三つの大本山を擁しています。皆さんもよくご存じの全国的にも有名な千葉県にある成田山新勝寺、神奈川県川崎大

師平間寺、そして東京都八王子市にある高尾山薬王院です。そうした重要寺院である大本山のトップに、弱冠五十歳の佐藤僧正が就任するのは非常に異例なことでした。しかし佐藤師は先代三十二世である大山隆玄大僧正よりの信頼がとて篤く、また各大本山、主要各所からの信任を得て、この度の住職交代・御入山となりました。私副住職は、これまで何度か御山修行や法要に師とご一緒させていただいたことがありますが、その重厚な存在感とは対照的に、温厚で気さくなお人柄に深い敬愛の念を寄せさせていただいております。今回の慶事は私たち青年僧侶の中でも非常に嬉しいビッグニュースとして全国を駆け巡りました。今の感染症による暗澹とした世情にあつて、光を見た思いがいたします。機会をみて企画を立てますので、ぜひ檀信徒参拝として高尾山に巡礼しましょう。



↑平成二十七年夏 海禅寺施餓鬼会において
ご法話前の佐藤 秀仁 師

告知 お寺でお葬式 事前相談会

以前より海禅寺新聞でお知らせをしてきたお寺でお葬式を行う事前相談会を開催いたします。当日は本堂を中心に実際にお葬式をする荘厳や準備を整えておりま

すので実際に見ていただけます。また葬儀のお世話をする業者の方が、無料の見積もり相談やご不安な手続きについて個別対応いたします。興味関心がおありの方はぜひお出かけください。

日程：令和3年3月13日（土）
午前10時～午後3時
詳細：後日チラシ送付
申込：チラシ送付後、感染症対策のため、できるだけ事前にお電話等でお申し込みください。

報告 しめ飾り作ろう会

毎年有志の檀信徒の皆さん方と、海禅寺各所にお供えするしめ飾りを手作りしています（ワラは宮島総代提供）。これまで数日かけて夜集まって制作をしていましたが、今年はそれが叶わないため、メンバーの皆さんがそれぞれご自宅にて思いを込めながら作ってくださいます。新年にご参拝の折はどうぞご覧下さい。

告知 海禅寺スキーコンペ

一昨年より海禅寺檀信徒の皆さんとの交流企画として有志の方達と行っているスキーコンペ。ゆるやかにスキーを楽しみながら、親睦を深めています。コロナ禍の中ですが、開催を模索しています。関心をお持ちの方はどうぞお問い合わせ下さい。

年末年始のご挨拶にかえて

住職です。今年も早いものであとわずか。来る新年が、檀信徒の皆さまにとつて、よりよい年でありますように、心よりご祈念申し上げます。

南無厄難消除 家内安全 心願成就



発行元 海禅寺